

事業名	高齢者学級開設事業
-----	-----------

総事業費	24 千円
------	-------

## ① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	社会教育の充実
	基本事業名	生涯学習機会・環境の充実

## ② 実施 (Do)

事業の意図	生涯学習を継続し、学級生相互の親睦と融和を図る	
事業の実績 と成果	取組内容	本事業は、全国的な高齢化傾向に対応して、高齢者学級・寿大学を開設。社会教育指導員を配置し、学習機会の提供と学習成果の活用などを支援している。
	成果	高齢者学級・寿大学に参加することで、高齢者が新たな知識や精神的な豊かさを感じ、生きがいにつながっていると感じる。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策の実施、人の往来が増える8月と1月の活動自体を計画の段階で中止にするなどの対策を講じながら活動を行った。実績として、高齢者学級は3地区で「年間22回実施、参加延べ人数501人」、寿大学は「年間8回実施、参加延べ人数582人」となった。

## ③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	高齢者学級の参加人数は変わらないが、寿大学は、年々参加人数が減少している。今後、高齢者が新たな知識や精神的な豊かさを感じ、生きがいにつながれる場としての高齢者学級・寿大学を継続するための対策を講じる必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者学級は、新たな知識や技術を学ぶとともに、仲間づくりや異なる世代との交流を通して、豊かな人生を送ることを目的に開設している。健康寿命の延伸という観点からも、この事業を支援することは大変有意義なことだと考えている。新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、学級生の意見を取り入れ、事業を進めることができた。</li> <li>・寿大学については、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら3年ぶりに開講し、101名の学生がまなびを通し、学生相互の親睦融和を図ることが出来た。</li> </ul>

## ④ 改善 (Action)

2023年度方向性	高齢者の生きがいづくりのために、事業は継続して実施するが、引き続き新型コロナウイルス感染症の感染状況等を把握し、高齢者が安心して学ぶことができるよう、感染症対策を講じる。同時に、高齢者支援課が実施する介護予防教室や市老人クラブ連合会などと連携を図り、参加者増を目指していく。
-----------	---

### 【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	令和元年度以来、3年振りとなる寿大学の開講式



平成30年度以来、4年振りの開催となった市民フェアに出演する寿大学のダンスクラブ生がフラダンスを披露



立山高齢者学級で消費者生活について学習している様子

事業名	市民講座開設事業
-----	----------

総事業費	567 千円
------	--------

## ① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	社会教育の充実
	基本事業名	生涯学習機会・環境の充実

## ② 実施 (Do)

事業の意図	生涯学習の大切さを認識し、趣味など生きがいを見つける	
事業の実績 と成果	取組内容	令和4年度は新規講座を6講座開設し、全13講座を開講した（フラワーアレンジメント・書道・アロマクラフト・着物着付け・絵画・手話（入門）・初めてのスマホ・ウクレレ・花とふれあい・ピラティス（初級・中級）・陶芸・韓国語はじめのいっぽ）。また、自主講座に対し、学習場所の提供などを実施した。
	成果	全13講座を開講した。講座回数に幅をもたせ、受講しやすさや新規講師の負担軽減につながった。発表の場となる生涯学習市民フェアが令和4年度は開催され、舞台発表・展示発表それぞれで生涯学習の成果を発表することができた。受講生からは「何か一つに集中することが楽しかった」という声もあり、内容に対しても満足度が高い。自主講座については、学習場所の提供や広報支援、学習成果の披露の場を提供できた。

## ③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	長年開講している市民講座や条件を満たす学習グループの自主講座への移行・掘起こしも、引き続き進めていくが、受講生から、さらなる支援希望があったことから、その対応について検討する必要がある。また、市民フェアだけでなく、社会教育施設を活用した学習成果発表の場を設けることで、市民の生涯学習に対する意欲を向上させていかなければならない。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	新たな講座も加え、感染症対策を講じながら計画的に実施できたと考える。市民の学習ニーズを的確に把握し、講師の確保に努めながら、継続的な講座開設に努めてもらいたい。

## ④ 改善 (Action)

2023年度方向性	R5年度は、11講座の開講を予定している。6月に開催予定の全体での開講式についても、予定通り開催する。新規講座を2講座（ヨガ・ジャズダンス）用意しており、これまでと違った体を動かす講座を開設したことによって、若年層への受講を期待している。
-----------	---

### 【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	<p>令和4年度新規講座：ウクレレ講座 ウクレレの基本から学び、最後は曲を弾くところまで学んだ。 令和5年2月に行われた、生涯学習市民フェアで舞台発表をした。</p> <p>【受講生の声】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いくつもの曲が弾けるようになり、受講生のみんなと達成感を味わうことができてよかった。</li> <li>・初心者でも分かりやすく段々弾けて楽しかった。</li> </ul>



令和4年度新規講座：スマホ講座

スマホの基本操作から、明るさや構図、写真の撮り方などを学び、実際に自分で加工するところまで学習した。

また、スマホで名刺の作成などを学び、新たな使い方を学んだ。

【受講生の声】

- ・講座で学んだことを活かして、自分でInstagramを開設し、撮った写真を投稿して楽しんでいます。
- ・自分で加工した写真や名刺をコンビニで印刷してみました。



令和4年度新規講座：ピラティス（初級・中級）講座

ピラティスの基本姿勢、呼吸法を学び、体のバランスを知ることができた。

骨盤や背骨のゆがみなども気づくことができ、受講生からの満足度は高かった。

【受講生の声】

- ・日常生活でも、一日一回は呼吸を意識するようになりました。
- ・体の力の抜き方がわかって、リラックスできるようになった。
- ・ゆっくと体に向き合う時間がとても気持ちよかった。